

■ 平成30年度活動報告

1 会員への情報提供及び情報交換

(1) 総会／研究成果・事例報告会

開催年月日：平成30年6月7日

会 場：ホテルグリーンタワー幕張

参 加：93名

テ ー マ：「食品機能性ペプチドの先端技術と応用」

内 容：

① 総会

平成29年度事業報告、平成30年度事業方針、その他

② 事例報告会「食品機能性ペプチドの先端技術と応用」

a. 「網羅的ペプチドの解析に関する研究開発」

(公財) かずさDNA研究所 ゲノム事業推進部 生体分子解析グループ
グループ長 鈴木 秀幸 氏

b. 「新規機能性ペプチドの探索と腸-脳連関」

京都大学大学院農学研究科 食品生物科学専攻食品生理機能学分野
准教授 大日向 耕作 氏

c. 「森永乳業における乳ペプチド開発」

森永乳業株式会社 研究本部 素材応用研究所バイオプロセス開発グループ
グループ長 越智 浩 氏

③ 情報交換会

(2) セミナー

○ 第1回セミナー（ちばの「食」産業連絡協議会と共催）

開催年月日：平成30年8月7日

会 場：ホテルグリーンタワー幕張

参 加：75名

テ ー マ：「食品の高付加価値化セミナー～千葉の農産物・産品を活用した製品
開発～」

内 容：

① 基調講演：消費者にとって魅力のある商品とは 商品戦略と成功のポイント なの花経営研究所所長・中小企業診断士 伊能 賢一 氏

② 各種制度・支援事業の紹介

a. 「地域資源活用事業」及び「6次産業化・農商工連携事業」について
千葉県商工労働部産業振興課

b. 千葉県産業振興センターの支援事業について
(公財) 千葉県産業振興センター

- ③ 県内研究機関・支援機関の紹介
 - a. (公財) かずさDNA研究所
 - b. (独法) 製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター
 - c. 千葉県産業支援技術研究所
- ④ 交流会・支援機関との個別相談

○ 第2回セミナー

開催年月日：平成30年11月9日

会場：ペリエホール

参加：42名

テーマ：「スマートセルによる新たなものづくりの可能性～脱化石燃料社会の実現に向けて～」

内容：

- ① 「スマートセル」を取り巻く環境と国内外動向（バイオエコノミーの紹介）
(公財) かずさDNA研究所 産官学連携推進センター長 柴田 大輔 氏
- ② スマートセルからバイオエコノミー創出へ～NEDO スマートセルプロジェクト紹介～
(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
材料・ナノテクノロジー部 プロジェクトマネージャー 林 智佳子 氏
- ③ かずさDNA研究所のスマートセルプロジェクトへの取組
(公財) かずさDNA研究所 先端研究開発部 染色体工学研究室
室長 舛本 寛 氏
- ④ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) の取組紹介
- ⑤ かずさインキュベーションセンターの紹介
- ⑥ 交流会

○ 第3回セミナー（千葉市産業振興財団と共催）

開催年月日：平成31年1月30日

会場：ホテルポートプラザちば

参加：43名

テーマ：「次世代ヘルスケアビジネス交流会～千葉発！最先端ベンチャービジネスの可能性～」

内容：

講演 第1部 がんゲノム解析による近未来医療

- ① 基調講演
未来医療を見据えたがんゲノム解析の応用、新産業創造の可能性について
千葉県がんセンター研究所 所長 永瀬 浩喜 氏
- ② 事業化プロジェクト発表
遺伝子解析によるがん発症リスク判定の事業化について
株式会社ゲノムクリニック 代表取締役 曾根原 弘樹 氏

講演 第2部 認知行動療法による精神疾患リスクの回避

① 基調講演

子どものこころの健康や不眠症・うつ病等に対するアプリ処方モデルの提案
千葉大学医学部附属病院 認知行動療法センター長
千葉大学大学院医学研究院 教授 清水 栄司 氏

② 事業化プロジェクト発表

認知行動療法を基にしたアプリ開発事例の紹介
株式会社テレマ 代表取締役 三輪 剛 氏

③ 交流懇親会

(3) 企画運営会議

開催年月日：平成31年3月13日

会 場：ペリエホール

参 加：20名

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

(1) 共同研究プロジェクトの創出に向けたセミナーの開催

※内容は「1 会員への情報提供及び情報交換」に掲載

平成30年度は、時機に合うテーマ設定をしたセミナーを3回実施し、会員への情報提供等に加え、共同研究プロジェクトや将来の事業化を促進する取組を行った。

また、平成30年度活動方針に掲げた他のネットワーク組織との連携の強化に取り組み、セミナーのうち2回を他の組織との共催で連携して実施した。

(2) バイオ・ライフサイエンス分野に関する県庁内連絡会議の開催

バイオ・ライフサイエンス関連分野の取組について、県庁内関係課と試験研究機関等との情報交換を2回実施した。(平成30年5月31日、平成31年3月14日)

○ 健康・医療分野

がんの予防法・診断法・治療法、指定難病の遺伝学的検査

○ 農業分野

DNAマーカー育種（落花生、イチゴ）、遺伝子診断による品種識別法

○ 環境分野

環境DNAによるメタバーコーディング法

○ 科学教育

千葉県夢チャレンジ体験スクール（サイエンススクール等）